

2026年合格目標 1級土木施工管理技士 二次検定 オンラインセミナー

既受験者向け！やることは3つ！
二次対策合格戦略セミナー

セミナーの内容

- ① 経験記述対策
- ② 第2問・第3問(必須問題対策)
- ③ 第4問以降(選択問題対策)
- ④ TACの講座案内
- ⑤ 質疑応答

令和3年～令和7年の出題形式

問題1	問題2	問題3
経験記述	穴埋め必須問題	記述 必須問題
問題4～7	問題8～11	
穴埋め選択問題	記述 選択問題	

※出題形式が変わる可能性があります。

① 経験記述対策

経験記述の対策（結論）

- **安全管理**
- **品質管理**
- **工程管理**
- **出来形管理**
- **施工計画**
- **環境対策**

6つの経験記述を作っておく

問題 1 の過去 18 年の出題傾向

試験の改定

R7	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
品質管理	安全管理	品質管理	安全管理	安全管理	品質管理	品質管理	品質管理	安全管理	安全管理	品質管理	安全管理
環境対策	施工計画										

H25	H24	H23	H22	H21	H20
品質管理	工程管理	安全管理	品質管理	出来形管理	仮設工

品質管理 : 8回
安全管理 : 7回
施工計画 : 1回
環境対策 : 1回
工程管理 : 1回
出来形管理 : 1回
仮設工 : 1回

2級土木 問題1の過去18年の出題傾向

試験の改定

R7	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
安全管理	品質管理	安全管理	品質管理	安全管理	安全管理	品質管理	安全管理	安全管理	安全管理	品質管理	安全管理
工程管理	工程管理	工程管理	工程管理	品質管理	工程管理	工程管理	品質管理	工程管理	品質管理	工程管理	工程管理

H25	H24	H23	H22	H21	H20
安全管理	品質管理	工程管理	安全管理	安全管理	品質管理 施工方法
品質管理	環境対策	環境対策	工程管理	環境対策	品質管理 確認方法

品質管理 : 11回
安全管理 : 11回
工程管理 : 11回
環境対策 : 3回

経験記述の出題内容

工事概要

【問題1】 あなたが経験した土木工事を1つ選び、工事概要を具体的に記述したうえで、次の〔設問1〕、〔設問2〕に答えなさい。
なお、あなたが経験した工事でないことが判明した場合は、失格となります。

〔工事概要〕 あなたが経験した土木工事に関し、次の事項について解答欄に明確に記述しなさい。

〔注意〕 「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。例えば、あなたの所属会社が二次下請業者の場合、発注者名は一次下請業者名となります。
なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

- (1) 工事名
- (2) 工事現場における施工管理上のあなたの立場
- (3) 工事の内容
 - ① 発注者名
 - ② 工事場所
 - ③ 工期
 - ④ 主な工種
 - ⑤ 施工量

工事概要の書き方

工事名

- ○○県道路XX線 舗装修繕工事
- 国道○○号線 舗装工事
- 地方道○○線 XX橋梁補修工事
- ○○市△△番地 排水管敷設替工事
- ○○分譲住宅地 土地造成工事 など

工事現場における施工管理上のあなたの立場

工事主任、現場代理人、施工監督、施工管理係、現場管理係など

工事概要の書き方

工事の内容

発注者名

〇〇建設株式会社、〇〇県〇〇整備事務所、〇〇市〇〇局 〇〇部 〇〇課、
国土交通省 〇〇地方整備局、〇〇工事事務所 〇〇課 など。

工事場所

- 〇〇県〇〇市△△地内
- 〇〇区〇〇丁目地内から同区〇〇丁目地内まで
- 〇〇県〇〇市〇〇町△△丁目 など。

工事概要の書き方

工期

- ・2024年5月15日～2025年9月20日
- ・令和6年3月25日～令和7年7月30日など

主な工種 (例)

竣工していない進行中の工事、未来の工事は記載しない。
平成 後期より前の現場はお勧めできません。

路盤工、舗装工、地盤改良工、立坑工、管きよ工、捨土掘削工

施工量 (例)

- ・アスファルト舗装： $t=30\text{mm}$ 、 $A=1,245\text{m}^2$
- ・大口径高圧噴射攪拌工 $\Phi 2,500$ $N=74$ 本 $\Phi 3,500$ $N=8$ 本
- ・舗装復旧： 918m^2
- ・捨土掘削： $4,387\text{m}^3$
- ・排水溝コンクリートシール： 263m 仮設防護網： 82m

工事概要

(1)工事名

県道〇〇線〇〇区道路改良工事

(2)工事現場における施工管理上のあなたの立場

現場代理人

(3)工事の内容

① 発注者名	〇〇県〇〇建設事務所
② 工事場所	〇〇県〇〇市〇〇区〇丁目地内
③ 工期	令和4年7月20日～令和4年11月10日
④ 主な工種	掘削工、擁壁工、舗装工、路盤工
⑤ 施工量	掘削土量 $V = 800 \text{ m}^3$ L型擁壁 $H = 3 \text{ m}$ $L = 160 \text{ m}$ アスファルト舗装 $A = 640 \text{ m}^3$ (延長160m 幅員4m) 表層舗装厚5cm、路盤1層目25cm・2層目15cm

経験記述の出題内容

設問 1

令和6年

〔設問1〕 工事概要に記述した工事の「安全管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

ただし、交通誘導員の配置のみに関する記述は除く。

- (1) 具体的な現場状況と特に留意した安全管理上の技術的課題と、その課題を解決するために検討した項目 **8行**
- (2) (1)で記述した検討項目の対応処置とその評価 **8行**

令和7年

〔設問1〕 工事概要に記述した工事の「品質管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

- (1) 具体的な現場状況と特に留意した品質管理上の技術的課題と、その課題を解決するために検討した項目 **8行**
- (2) (1)で記述した検討項目の対応処置とその評価 **8行**

経験記述の出題内容

設問 2

令和 6 年

〔設問 2〕 工事概要に記述した工事の「**施工計画**」の作成に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

ただし、設問 1 と同一内容の解答は不可とする。

8行 (1) 施工計画立案に先立ち行った現場の事前調査で判明した**施工上の課題**

8行 (2) (1)で記述した課題について**施工計画の作成**にあたり反映した**対応処置**とその**評価**

令和 7 年

〔設問 2〕 工事概要に記述した工事の「**環境対策**」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

〈**環境対策の例**〉

周辺環境対策：周辺地域の生活環境への対策（騒音や振動，水質汚濁，土壌汚染等）

自然環境対策：周辺地域の動植物等の生態系の保全対策

建設副産物等対策：建設副産物の発生抑制や分別解体，再使用，再資源化，適正な処理，再利用，CO₂排出量削減等の対策

8行 (1) 施工に際し判明した，**環境対策上の技術的課題**と，その課題を解決するために検討した項目

8行 (2) (1)で記述した検討項目の**対応処置**とその**評価**

書き方の注意点

- **丁寧**に文字を書く。
- **誤字、脱字、異なる単位**には注意する。
(漢字がわからなければ、平仮名でよい。)
- なるべく**全ての行数**を埋められるように書く。
(検討項目の箇条書きでよいものは上手くスペースを使う。)
- **過去形**で書く。
「～であった。」「～について検討した。」「～を実施した。」
- **具体的な数値、材料、資機材、管理方法**を記載する。
検討項目や実施したことに「○%、○cm、○○分以内」など
- 現場の規模、工期、場所などの**整合性**を取る。

令和6年の参考解答

〔設問1〕

(1) 具体的な現場状況と特に留意した安全管理上の技術的課題とその課題を解決するために検討した項目（8行）

本工事は県道〇〇線〇〇区の線形変更に伴う道路改良工事であった。

現場は、一部区間が狭隘であることから、L型擁壁を据付ける際、移動式クレーンの旋回範囲内への作業員の立入り、また、オペレーターからの死角が起因となる誤操作等、クレーンと作業員との接触事故の可能性が懸念された。

このような条件下において、L型擁壁据付け時の接触事故による労働災害を防止することが、技術的課題となったため、下記の項目を検討した。

- ① 作業員のクレーン旋回範囲内への立入り防止措置の検討。
- ② クレーンオペレーターによる安全施工を可能とするための合図者設置の検討。

技術的課題

5～6行

検討項目

2～3行

令和6年の参考解答

(2) (1)で記述した検討項目の対応処置とその評価 (8行)

検討項目により、現場では次の対策を実施した。

① 作業開始前に、旋回範囲内を安全バーとカラーコーンで区画し、作業員の一切の立入りを禁止した。また、クレーン稼働時には、あらかじめ登録した旋回位置に達すると自動停止する機能を備えた作業範囲制限装置を使用した。

② 合図者を指名し、死角の大きいクレーン後方及び側方に配置するとともに定めた合図の方法について、作業開始前、関係労働者にも周知を図った。

以上の対応処置により、接触事故による労働災害を未然に防ぎ、工事を無事完了できたことが評価できる。

対応処置
6~7行

評価
1~2行

② 第2問・第3問(必須問題対策)

問題 2 ～ 1 1 の対策（結論）

問題 2 と問題 3

過去問 12年分 +
第一次検定の施工計画と安全管理の過去問 5年分

問題 4 ～問題 1 1

過去問 12年分

- ・得意科目と不得意科目を明確にする。
- ・ジョーカーを選択しないようにする。

必須問題(問2, 問3)について

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
問題2 (穴埋め)	コンクリート工	安全管理	コンクリート系の品質管理	安全管理	施工計画
				新規問題 第一次検定から出題	新規問題 第一次検定から出題
問題3 (記述)	施工計画	土工系の品質管理	安全管理	施工計画	安全管理
				新規問題 第一次検定から出題	過去問類似 第二次検定から出題

一次検定と二次検定の関連性

一次検定の科目

(過去問からの分析)

工学基礎知識

→二次検定では
出題されない

法規

→二次検定では
出題されない

土木一般

- 土工→出題される
- コンクリート工→出題される
- 基礎工→出題されない

施工管理法

- 施工計画→出題される
- 工程管理→出題されない
- 安全管理→出題される
- 品質管理→出題される

専門土木

→二次検定では
出題されない

建設副産物
建設廃棄物
環境保全

→出題される

令和7年 問題2 労働基準監督署長への届出

もんだい
【問題2】

ろうどうあんぜんえいせいほうれいじょう いっぱんてき しょかつろうどう き じゅんかんたくしよちょう とど で けんせつぶつ き かい
労働安全衛生法令上、一般的に所轄労働基準監督署長に届け出なければならない、建設物・機械
とう せつ ちとどけ かん つぎ ぶんしやうちゆう の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句又は数値を解答欄
等の設置届に関する次の文章 中の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句又は数値を解答欄
に記述しなさい。

10

- (1) つり足場, 張出し足場以外の足場の設置において, 高さが (イ) m 以上となるときは
(組立てから解体までの期間が60日未満は除外), 設置箇所, 種類及び用途, (ロ) や材質
及び主要寸法を明記し, 図面は (ハ) 及び配置図を添付して届け出る。 **構造**

組立図 3.5

- (2) 型枠支保工の設置において, 支柱の高さが (ニ) m 以上となるときは, 打設しようとする
コンクリート構造物の概要, (ロ) や材質及び主要寸法, 設置期間を明記し, 図面は
組立図 (ハ) 及び配置図を添付して届け出る。 **構造**

通路

10

- (3) 架設 (ホ) の設置において, 高さ及び長さが (イ) m 以上となるときは (組立て
から解体までの期間が60日未満は除外), 設置箇所, (ロ) や材質及び主要寸法, 設置期
間を明記し, 図面は平面図, 側面図及び断面図を添付して届け出る。 **構造**

令和7年 問題2 労働基準監督署長への届出

令和6年 問題22B 届出・許可

工事の施工に伴う関係機関への届出及び許可に関する下記の①～④の記述のうち、**適当なもの**の数は次のうちどれか。

- ① 打設しようとするコンクリート構造物において、型枠支保工の支柱高さが**3.5**m以上の場合は、所轄の労働基準監督署長に工事の計画を届け出なければならない。
- ② 道路上に工事用板囲、足場、詰所その他の工事用施設を設置し、継続して道路を使用する者は、道路管理者から道路占用許可を受けなければならない。
- ③ 特殊な車両にあたる自走式建設機械を通行させようとする者は、所轄の警察署長に申請し、特殊車両の通行許可を受けなければならない。
- ④ つり足場又は張出し足場以外の足場で、高さが**10m**以上、組立から解体までの期間が60日以上の場合、市町村長に工事の計画を届け出なければならない。

令和2年 問題6B 許可・届出

建設工事の施工にともなう関係機関への届出及び許可に関する次の記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- ① 道路上に工事用板囲、足場、詰所その他の工事用施設を設置し、継続して道路を使用する場合は、所轄の警察署長に道路占用の許可を受けなければならない。
- ② 型枠支保工の支柱の高さが**3.5m**以上のコンクリート構造物の工事現場の場合は、所轄の労働基準監督署長に計画を届け出なければならない。
- ③ 車両の構造又は車両に積載する貨物が特殊である車両を通行させる場合は、地方運輸局長に特殊車両の通行許可を受けなければならない。
- ④ つり足場、張出し足場以外の足場で、高さが**10m**以上、組立から解体までの期間が60日以上の場合、市町村長に計画を届け出なければならない。

令和7年 問題3 墜落等による危険防止措置

令和7年 問題3

【問題3】

労働安全衛生規則に定められている、事業者が行わなければならない墜落等による危険の防止に関する措置を2つ解答欄に記述しなさい。

ただし、解答欄の(例)と同一内容は不可とする。

平成29年 問題10

【問題 10】

高所での作業において、墜落による危険を防止するために、労働安全衛生規則の定めにより、事業者が実施すべき安全対策について5つ解答欄に記述しなさい。

令和6年 問題2 安全ネット

【問題 2】

墜落による危険を防止するためのネットの構造等の安全基準に関する次の文章 中の の

(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句又は数値を解答欄に記述しなさい。

- (1) ネットには見やすい箇所に、①製造者名、②製造年月、③仕立寸法、④網目、⑤新品時の網糸の (イ) が、表示されていること。

強度 強度

- (2) 網糸が規定する (イ) を有しないネット、人体又はこれと同等以上の重さを有する落下物による (ロ) を受けたネットは使用しないこと。

衝撃 1

- (3) ネットは、使用開始後 (ハ) 年以内及びその後6ヶ月以内ごとに1回、定期的に試験用糸について等速 (ニ) 試験を行うこと。

引張 垂直

- (4) 作業床等とネットの取付け位置との (ホ) 距離は、ネットが架設されたときにおけるネットの短辺方向の長さ^{なが}とネットの長辺方向のネットの支持間隔との関係より、計算して得た値以下とすること。

令和6年 問題2 安全ネット

令和4年 問題11B 安全ネット

1. 不適當。墜落による危険を防止するための安全ネットについては、厚生労働省の「墜落による危険を防止するためのネットの構造等の安全基準に関する技術上の指針4-6-(2)」により、以下のものは使用してはならないと定めている。
 - ① 網糸が規定する強度を有しないネット
 - ② 人体又は同等以上の重さを有する落下物による**衝撃**を受けたネット
 - ③ 破損した部分が補修されていないネット
 - ④ 強度が明らかでないネット
2. 適當。ネットの損耗が著しい場合、ネットが**有毒ガス**に暴露された場合等においては、ネットの使用後に試験用糸について**等速引張**試験を行うこと（同指針4-4-2）。
3. 適當。1の解説を参照。
4. 適當。ネットの材料は、合成繊維とすること。また、ネットの**支持点**の間隔は、ネット周辺からの墜落による危険がないものであること（同指針2-2、4-3）。

令和3年 問題11B 安全ネット

1. 適當。ネットの損耗が著しい場合、ネットが**有毒ガス**に暴露された場合等においては、ネットの使用後に試験用糸について**等速**引張試験を行うこと（墜落による危険を防止するためのネットの構造等の安全基準に関する技術上の指針4-4-2）。
2. 不適當。単体ネットの場合と複合ネットの場合とでは、「使用における落下高さの計算式」が異なるため、同一の値になるとは限らない（同指針4-4-1）。
3. 適當。安全ネットには、見やすい箇所に、製造者名・製造年月・仕立寸法・網目・新品時の網糸の**強度**を表示する（同指針5）。
4. 適當。ネットを取り付ける点を**支持点**といい、安全ネットの支持点の間隔は、ネット周辺からの墜落による危険がないものとする（同指針4-3）。

令和6年 問題3 施工体制台帳

もんだい
【問題 3】

はっちゅうしゃ ちよくせつけんせつこうじ う お けんせつぎょうしゃ さくせい せ こうたいせいだいちょう かん けんせつぎょうほう
発注者から直接建設工事を請け負った建設業者が、作成する施工体制台帳に関し、「建設業法
れい およ こうきょうこうじ にゆうさつおよ けいやく てきせい か そくしん かん ほうりつ さだ
令」及び「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」で定められていることについ
て5つ解答欄に記述しなさい。

ただし、解答欄の（例）と同一内容は不可とする。また、施工体系図に関する解答も不可とする。

令和6年 問題3 施工体制台帳

令和4年 問題22B 施工体制台帳

- ・下請業者は、請負った工事をさらに他の建設業を営む者に請け負わせたときは、施工体制台帳を修正するため再下請通知書を **元請業者** に提出しなければならない（建設業法 24条の8 第2項）。
- ・施工体制台帳には、建設工事の名称、内容及び工期、許可を受けて営む建設業の種類、**健康保険の加入状況** 等を記載しなければならない（同規則 14条の2 第1項 2号）。
- ・発注者から直接工事を請負った建設業者は、当該工事を施工するため、**下請金額にかかわらず**、施工体制台帳を作成しなければならない（公共工事適正化促進法 15条 1項）。
- ・元請業者は、施工体制台帳と合わせて施工の分担関係を表示した **施工体系図** を作成し、工事関係者や公衆が見やすい場所に掲げなければならない（建設業法 24条の8 第4項）。

令和2年 問題7B 施工体制台帳

1. 適当。公共工事を請負った場合には、下請契約の請負代金に関わらず、施工体制台帳を作成し、建設工事の目的物を引き渡すまで、工事現場ごとに備え置く必要がある（公共工事適正化促進法 15条 1項）。
2. 適当。施工体系台帳を備えた場合、各下請負人の施工の分担関係を表示した**施工体系図**も作成し、これを当該工事現場の見やすい場所に掲げなければならない（建設業法 24条の8 第4項）。
3. 適当。施工体制台帳には、作成建設業者の許可に関する事項、請け負った建設工事に関する事項、下請負人に関する事項、健康保険等の社会保険の加入状況、外国人技能実習生等の従事状況等を記載する（同規則14条の2 1項 1号、2～4号）。
4. **不適當**。施工体制台帳の作成を義務づけられている建設工事の下請負人は、請け負った工事を再下請負に出すときは、**元請負人（特定建設業者）**に再下請負人の商号又は名称及び住所等を通知する（建設業法 24条の8 第2項）。

③ 第4問以降（選択問題対策）

令和3年～令和7年の出題内容

グループ1

土工	土工系の 品質管理	コンクリート工	コンクリート系 の品質管理
----	--------------	---------	------------------

近年4～6問
出題

グループ2

安全管理	工程管理	施工計画	建設副産物	建設廃棄物	環境保全
------	------	------	-------	-------	------

2～3問

1～3問

1問

選択問題(問4～問7)について

穴埋め

問題4

令和3年

土工

令和4年

コンクリート工

令和5年

土工

令和6年

コンクリート工

令和7年

土工

問題5

コンクリート系の品質管理

土工系の品質管理

コンクリート工

土工系の品質管理

コンクリート系の品質管理

問題6

安全管理

安全管理

安全管理

安全管理

安全管理

問題7

土工

土工

建設廃棄物

土工系の品質管理

施工計画

選択問題(問8～問11)について

記述	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
問題8	建設副産物	土工	コンクリート工	土工	コンクリート工
問題9	コンクリート工	コンクリート系の品質管理	土工系の品質管理	コンクリート工	土工系の品質管理
問題10	安全管理	安全管理	安全管理	安全管理	安全管理
問題11	工程管理	建設廃棄物	工程管理	環境保全	工程管理

選択問題(問4～問7)について

問題 4

【問題 4】

軟弱地盤における盛土施工の留意点に関する次の文章 中の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句を解答欄に記述しなさい。

(1) 軟弱地盤上の盛土では、盛土中央付近の沈下量が法肩部付近に比較して大きいので、盛土施工中はできるだけ施工面に4～5%程度の 勾配をつけて、表面を平滑に仕上げ、雨水の を防止する。

浸透 側方

横断

(2) 軟弱地盤においては、 移動や沈下によって丁張りが移動や傾斜したりすることがあるので、盛土施工の途中で盛土形状や寸法のチェックを忘れてはならない。

(3) 盛土荷重によって軟弱地盤が沈下するので、沈下量の大きい区間では、法面勾配を計画勾配で仕上げると、沈下によって盛土天端の幅員が不足し、 盛土が必要となることが多い。このため、供用後の沈下をあらかじめ見込んだ勾配で仕上げ、余裕幅を設けて施工することが望ましい。

腹付け

(4) 軟弱地盤における土工構造物の施工及び軟弱地盤対策工の実施においては、沈下管理や安定管理のための を実施し、得られた計測情報に基づいた評価を行って、その結果を次の施工にフィードバックすることが必要である。

動態観測

令和元年 問題2

【問題 2】

軟弱地盤上の盛土施工の留意点に関する次の文章の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句を解答欄に記述しなさい。

(1) 準備排水は、施工機械のトラフィカビリティーが確保できるように、軟弱地盤の表面に 排水溝を設けて、表面排水の処理に役立てる。

素掘り

中央

(2) 軟弱地盤上の盛土では、盛土 付近の沈下量が法肩部付近に比較して大きいので、盛土施工中はできるだけ施工面に4%～5%程度の 横断 勾配をつけて、表面を平滑に仕上げ、雨水の を防止する。

浸透

側方

(3) 軟弱地盤においては、 移動や沈下によって丁張りが移動や傾斜したりすることがあるので、盛土施工の途中で盛土形状や寸法のチェックを忘れてはならない。

(4) 盛土荷重による沈下量の大きい区間では、法面勾配を計画勾配で仕上げると、沈下によって盛土天端の幅員が不足し、 盛土が必要となることが多い。このため、供用後の沈下をあらかじめ見込んだ勾配で仕上げ、余裕幅を設けて施工することが望ましい。

腹付け

選択問題(問4～問7)について

問題5

ジョーカー(鉄筋が得意な方は除く)

【問題5】

鉄筋の加工・組立に関する品質管理と検査に関する次の文章中の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句を解答欄に記述しなさい。

(1) 柱・梁とスラブ等の部材接合部においては鉄筋が錯綜するため、部材ごとの加工組立図だけでは実際の組立状態が把握できないこともある。このため、 を活用し鉄筋の組立が可能かどうか事前に確認しておくことが望ましい。

BIM/CIM

熱

(2) 鉄筋の加工や組立において を加えることは材質の著しい低下につながるため、特に疲労が問題となるような構造物、部材では避ける必要がある。

かぶり

(3) 鉄筋の を正しく保つために、本体コンクリートと同等以上の品質を有するモルタル製あるいはコンクリート製等のスペーサを必要な間隔に配置しなければならない。

防錆

(4) 組み立てた鉄筋の一部が長時間大気にさらされる場合には、鉄筋の 処理を行うか、シート等による保護を行うものとする。

超音波

(5) ガス圧接継手で正常に接合されていることを確認する方法には、外観検査と 探傷検査がある。

平成26年 問題4 設問1

〔設問1〕 鉄筋コンクリートの施工の各段階における検査のうち、鉄筋工の検査に関する次の文章の に当てはまる適切な語句を解答欄に記入しなさい。

(1) 鉄筋の発注及び納入は設計図書に示された、鉄筋の , , 数量などを確認する。

径 長さ

(2) 鉄筋の加工及び組立が完了したら、コンクリートを打ち込む前に、鉄筋が堅固に結束されているか、鉄筋の交点の要所は焼なまし鉄線で緊結し、使用した焼なまし鉄筋は

かぶり

内に残って無いか、鉄筋について鉄筋の本数、鉄筋の間隔、鉄筋の

を確認し、更に折曲げの位置、継手の位置及び継手の , 鉄筋相互の位置及び間隔のほか、型枠内での支持状態については設計図書に基_きを_よる_た定の精度で造られているかを検査する。また、継手部を含めて、いずれの位置においても、最小の

長さ

が確保されているかを確認する。

かぶり

長さ

(3) ガス圧接継手の外観検査の対象項目は、圧接部のふくらみの直径や , 圧接面のずれ、圧接部の折曲がり、圧接部における鉄筋中心軸の , たれ・過熱、その他有害と認められる欠陥を項目とする。また、鉄筋ガス圧接部の圧接面の内部欠陥を検査する方法は 検査である。

偏心量

超音波探傷

選択問題(問4～問7)について

問題6

【問題6】

地下埋設物に近接した箇所で施工するにあたって、現場で実施する具体的な対策について、次の文章中の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句を解答欄に記述しなさい。

台帳

(1) 埋設物が予想される場所で施工するときは、施工に先立ち、 (イ) と照らし合わせて位置(平面・深さ)を確認した上で細心の注意のもとで (ロ) を行い、その埋設物の種類、位置、規格、構造等を原則として目視により確認すること。**試掘**

(2) 掘削影響範囲に埋設物があることがわかった場合は、埋設物の位置、物件の名称、保安上の必要事項、管理者の連絡先等を記載した (ハ) を取付ける等、工事関係者に確実に伝達すること。**表示板**

(3) 工事施工中において、管理者の不明な埋設物を発見した場合は、埋設物に関する調査を再度行って管理者を確認し、当該管理者の (ニ) を求め、安全を確認した後に措置すること。**立会**

試掘

(4) 掘削断面内に移設できない地下埋設物がある場合は、 (ロ) 段階から本体工事の埋戻し・路面復旧の段階までの間、適切に埋設物を (ホ) し、維持管理すること。**防護**

令和4年 問題2

【問題2】

地下埋設物・架空線等に近接した作業に当たって、施工段階で実施する具体的な対策について、次の文章の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句を解答欄に記述しなさい。

埋設物の管理者

(1) 掘削影響範囲に埋設物があることが分かった場合、その (イ) 及び関係機関と協議し、関係法令等に従い、防護方法、立会の必要性及び保安上の必要な措置等を決定すること。

試掘

(2) 掘削断面内に移設できない地下埋設物がある場合は、 (ロ) 段階から本体工事の埋戻し、復旧の段階までの間、適切に埋設物を防護し、維持管理すること。

(3) 工事現場における架空線等上空施設について、建設機械等のブーム、ダンプトラックのダンプアップ等により、接触や切断の可能性があると考えられる場合は次の保安措置を行うこと。

① 架空線等上空施設への防護カバーの設置 **高さ制限**

② 工事現場の出入り口等における (ハ) 装置の設置

③ 架空線等上空施設の位置を明示する看板等の設置

④ 建設機械のブーム等の旋回・ (ニ) 区域等の設定

立入り禁止

(4) 架空線等上空施設に近接した工事の施工に当たっては、架空線等と機械、工具、材料等について安全な (ホ) を確保すること。**離隔**

選択問題(問4～問7)について

問題7

【問題7】
土木工事の施工計画作成時に留意すべき事項について、次の文章中の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句を解答欄に記述しなさい。

調査

(1) 施工計画は、設計図書及び事前 (イ) の結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を立案すること。

協議

(2) 関係機関等との (ロ) , 調整が必要となる工事では、その内容は一般的に計画立案の (ハ) 条件となるのでよく把握すること。

制約

(3) 特に都市内の工事にあつては、労働災害防止のほかに (ニ) 災害防止上の安全確保に十分留意すること。

第三者

指揮命令

(4) 現場における組織編成及び業務分担、 (ホ) 系統が明確なものであること、また、災害等非常時の連絡系統も明記しておくこと。

平成29年 問題6

【問題 6】

施工計画の立案に際して留意すべき事項について、次の文章の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句を解答欄に記述しなさい。

事前調査

(1) 施工計画は、設計図書及び (イ) の結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策など必要な事項について立案する。

(2) 関係機関などとの協議・調整が必要となる工事では、その協議・調整内容をよく把握し、特に都市内工事にあつては、 (ロ) 災害防止上の安全確保に十分留意する。

第三者

(3) 現場における組織編成及び (ハ) , 指揮命令系統が明確であること。

業務分担

振動

(4) 環境保全計画の対象としては、建設工事における騒音、 (ニ) , 掘削による地盤沈下や地下水の変動、土砂運搬時の飛散、建設副産物の処理などがある。

配置

(5) 仮設工の計画では、その仮設物の形式や (ホ) 計画が重要なので、安全でかつ能率のよい施工ができるよう各仮設物の形式、 (ホ) 及び残置期間などに留意する。

配置

選択問題(問8～問11)について

問題8

【問題8】

コンクリートの打継目に関する次の2項目について、施工上の留意点をそれぞれ1つずつ解答欄に記述しなさい。

ただし、解答欄の(例)と同一内容は不可とする。

- ① 打継目の位置を決める際の留意点
- ② 水平打継目の処理の留意点

平成30年 問題8

【問題 8】

コンクリート打込みにおける打継目に関する次の2項目について、それぞれ1つずつ施工上の留意事項を解答欄に記述しなさい。

- (1) 打継目を設ける位置
- (2) 水平打継目の表面処理

選択問題(問8～問11)について

問題9 ジョーカー 新規問題

もんだい
【問題9】

じょうほう か せこう
情報化施工における TS (トータルステーション)・GNSS (ぜんきゅうそく い えいせい 全球測位衛星システム) を用いた盛
ど しめかた かんり
土の締固め管理において、せこう じっし じこう
施工における実施事項を、か き
下記の①～④から2つえら
を選び、ばんごう
番号とそのじっし
実施
じこう かいとうらん き じゆつ
事項を解答欄に記述しなさい。

ただし、かいとうらん れい
解答欄の(例)と同一内容はどういつないよう ふ か
は不可とする。

- ① し けん せ こう
試験施工
- ② もり ど ざいりょう ひんしつ
盛土の材料の品質
- ③ ざいりょう だ
材料のまき出し
- ④ しめかた
締固め

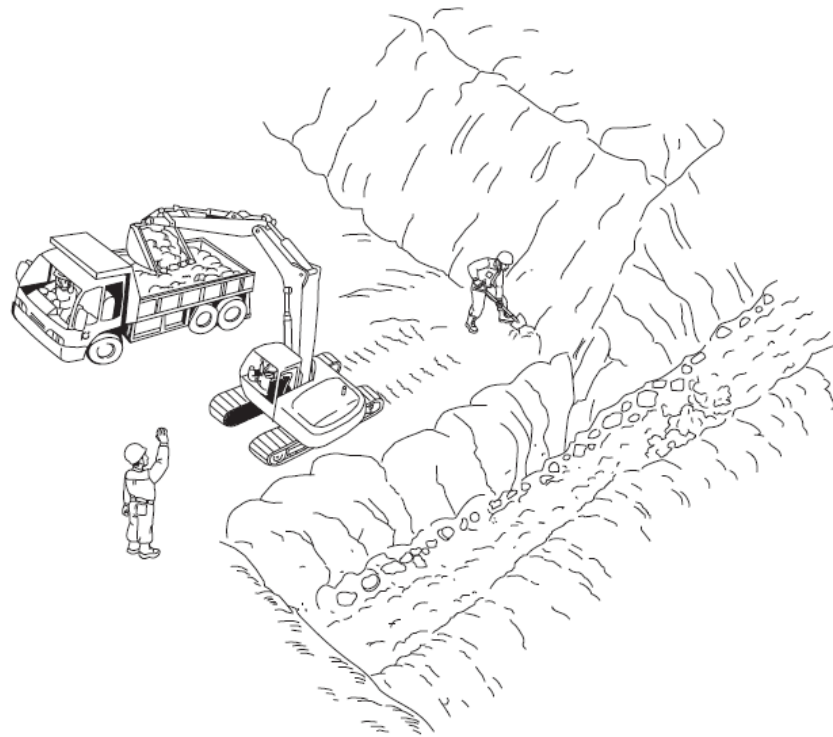
情報化施工は頻出だが、毎年新しい内容の問題が出題される。

選択問題(問8～問11)について

問題10

平成20年
問題5 設問2

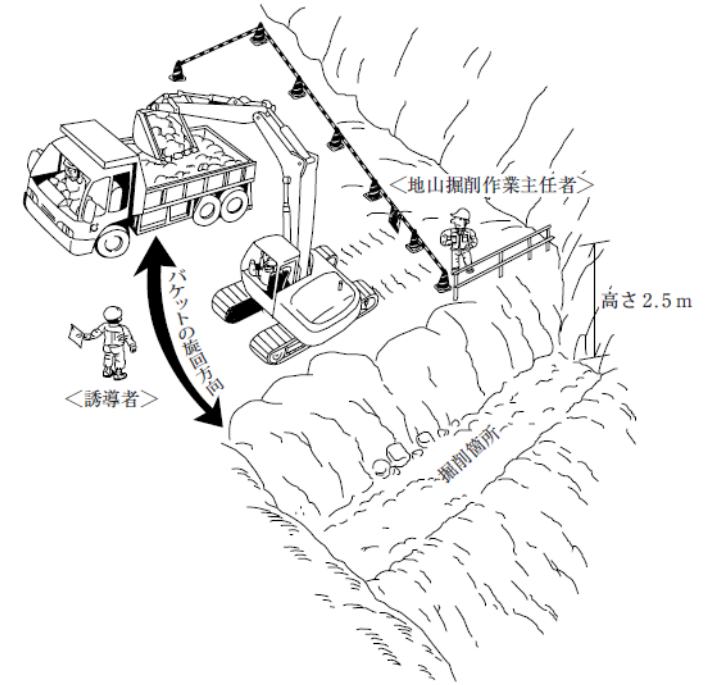
【問題10】
建設現場における、車両系機械による掘削又は積込み作業中の労働災害とその防止対策について、労働安全衛生規則に定められている、事業者が実施すべき事項を5つ解答欄に記述しなさい。



〔設問2〕 下図は、誘導者及び地山掘削作業主任者を配置して、油圧ショベル（バックホウ）で構造物の床掘を行い、ダンプトラックに掘削土の積込み作業を行なっている現場状況である。この油圧ショベル（バックホウ）の掘削、積込み作業時における潜在している危険又は有害要因（予想される労働災害）を2つあげ、その防止対策をそれぞれ解答欄に簡潔に記述しなさい。

ただし、ダンプトラック作業及び第3者の侵入に関する記述は除く。

油圧ショベル（バックホウ）による掘削土の積込み作業状況図

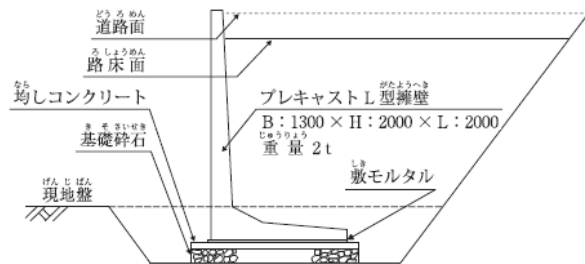


選択問題(問8～問11)について

問題 1 1

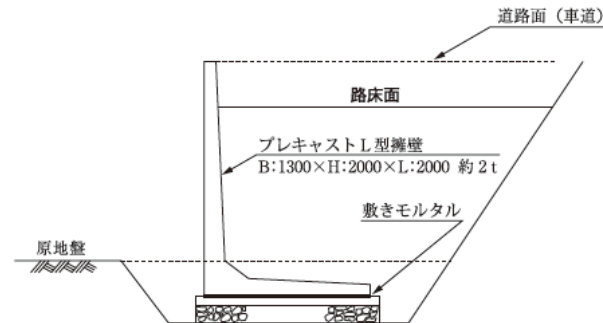
平成26年 問題6 設問2

【問題11】
下図のようなプレキャストL型擁壁を設置し路床面まで施工する場合の施工手順が次の表に示されているが、施工手順番号①～③のうちから2つ選び、それぞれの番号と該当する工種名及び施工上の留意事項を解答欄に記述しなさい。
ただし、主要機械の操作及び安全管理に関するものは除く。



施工手順番号	工種名	主要機械	施工上の留意事項
①	床掘工 (3次元設計データの作成)	バックホウ	・施工図に従って位置・高さ(3次元設計データ)を正確にICT建機に設定する。
②	据付け工	ラフテレーンクレーン (移動式クレーン)	・基礎工は、地下水に留意しドライワーク施工する。 ・沈下・滑動・不陸等が生じないようにする。
③	埋戻し工	ハンドガイドローラ・ランマ	・プレキャストL型擁壁の底面と均しコンクリートが密着するよう、敷モルタルを施工する。
	路床工		・敷均し材料の性質をよく把握して施工する。
	後片付け工		・清掃及び整理整頓する。

〔設問2〕 下図のようなプレキャストL型擁壁を設置し路床面まで施工する場合、施工手順①～③のうちから2つ選び、それぞれの該当する工種名とその工種で使用される主な建設機械名及び工種で実施する品質管理又は出来形管理の確認項目を解答欄に記入しなさい。
ただし、排水工は考慮しないものとする。



施工手順	工種名	主な建設機械名	品質管理又は出来形管理の確認項目
①	準備工(丁張りなど) 床掘工		
②	据付け工		
③	路体工		

④ T A C の講座案内

TACの講座案内

TACが
選ばれる

3つの

理由

【講義時間】は大手スクールの

約 **1.4** 倍

【受講料】は大手スクールの

約 **1/2** 半分

▷ 比べてください

※税込 ※TAC調べ(2025年9月時点)

	TAC		大手スクール	
	講義時間	通常受講料	講義時間	通常受講料
一次対策	約70時間	¥143,000	約50時間	¥308,000
二次対策	約35時間	¥88,000	約25.5時間	¥165,000

どうしてこんなに低価格なの？

営業マンの費用をできるだけ節減！

- 1 Webを中心とした営業活動を行うことで、受講生を募集するための費用をできる限り抑えています。余計な費用を減らし、良質な講座を提供することが、何より受講生の支持を受ける最良の方法であると考えます。

受講生を管理するための経費をできるだけ節減！

- 2 TACでは、受講生の出席促進や自習状況の過剰な管理など、本来の教務に直接関係のないサービスはいたしません。そうした経費は削減し、本来の教務に経費を集中させることが、真剣に学習する受講生のためだと信じています。

TACの講座案内

2

ひとりの講師が
全科目を担当



全科目担当
からのようこう
平野 陽康
TAC 1級土木施工管理技士講座 専任講師。1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士、宅地建物取引士、消防設備士(甲種 第1類)等の資格を持つ。技術職として現場で数年経験を積んだ後、教育業界・教育系 YouTuberへ活動の場を広げる。テンポがよく無駄のない講義が魅力。



3

これさえあれば大丈夫!
TACのオリジナル教材



8つのポイント

- オールカラー&赤シート対応**
大切なところがすぐわかるオールカラー。赤シート対応のため、暗記のための反復学習も簡単です。
- はじめに各項目の攻略法**
合格に向けてどんな点に注意して勉強を進めるべきか、まずはしっかり把握しましょう。
- 徹底的に吟味した内容**
学習される方の負担にならないよう、合格に直結する項目にしぼって掲載しています。
- 過去8年間の本試験出題箇所アンダーライン**
平成30年度～令和7年度まで、過去8年間の一次検定の出題箇所には、アンダーラインと出題年度を記載。学習初期から直前期まで絶大な力を発揮します。
- 豊富なイラスト図解**
試験で合格するためには、工法や設備、材料や機器についての知識が欠かせません。本書では、ぱっと見てすぐにイメージがつかめるよう、イラストを多数掲載しています。
- 理解度を高める「ひとこと」**
著者からの「ひとこと」には、理解を深めるためのヒントがつまっています。
- 『過去8年間の出題実績』一覧つき**
過去8年間の一次検定で何が出題されたのか、まるわかりです。
- どこでも手軽に学習**
持ち運びに便利な3分冊形式です。

TACの講座案内

■受講料（10%税込・教材費込）

※「二次対策本科生」にはアンダー25コースの割引はございません。

学習メディア	通常受講料		セット申込割引		一次生割引		再受講割引	
	コースNo.	受講料	コースNo.	受講料	コースNo.	受講料	コースNo.	受講料
教室講座 (新宿校)	268-201	¥88,000	268-202	¥66,000	268-203	¥77,000	268-207	¥61,600
ビデオブース講座		¥88,000		¥66,000		¥77,000		¥61,600
Web通信講座	268-204	¥88,000	268-205	¥66,000	268-206	¥77,000	268-208	¥61,600

社会人の
1級土木施工管理技士
受検をバックアップ!



一般教育訓練給付金制度のご案内

TAC1級土木施工管理技士講座 指定コースはこちら

教育訓練給付金制度で
キャッシュバックあり

※Web通信講座のみ

TACの講座案内

2026年
8月

9月

10月



Point

新傾向問題にも完全対応! \ Check! /

令和6年度 試験問題の見直し

試験元から、「受検者の経験に基づく解答を求める設問に関し、自身の経験に基づかない解答を防ぐ観点から、1級と2級の第二次検定においては幅広い視点から経験を確認する設問として見直しを行う。」と発表されました。

令和6年度
本試験講評をみる



Point

頻出論点講義では、演習を豊富に交え即時チェックしながら講義を進めます

Point

毎回確認テストを実施!
前回分の復習チェックを行います

Point

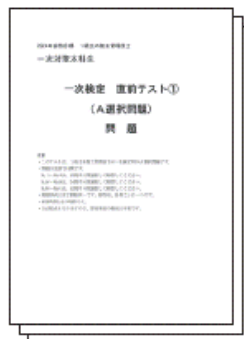
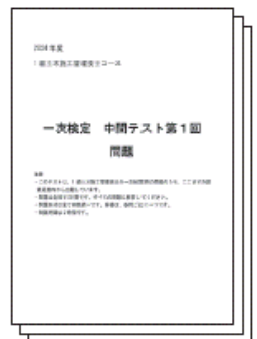
本番形式で模擬試験にチャレンジ!
解説講義で最後の総まとめを行います

● 毎週確認テスト
● 直前テスト(1回)



オリジナル
テキスト&問題集 1冊

二次対策がこの一冊で完結。経験記述の答案例も十分に掲載!



各種テスト
(問題冊子・
解説冊子)

TACの講座案内

回数	内容 2.5時間/1回	📍 教室講座（新宿校）		📺 ビデオブース講座 📺 Web通信講座	📺 Web通信講座
				講義配信開始日	教材発送日
1	経験記述① 初回体験入学OK	8/16 (日)	13:30~16:00	8/19 (水)	初回発送 8/17 (月) 第2回(最終)発送 9/25 (金)
2	土工①		16:30~19:00		
3	経験記述②	8/23 (日)	13:30~16:00	8/26 (水)	
4	土工②		16:30~19:00		
5	コンクリート工①	8/30 (日)	13:30~16:00	9/ 2 (水)	
6	コンクリート工②		16:30~19:00		
7	品質管理①	9/ 6 (日)	13:30~16:00	9/ 9 (水)	
8	品質管理②		16:30~19:00		
9	安全管理①	9/13 (日)	13:30~16:00	9/16 (水)	
10	安全管理②		16:30~19:00		
11	施工計画の立案・工程管理	9/20 (日)	13:30~16:00	9/26 (土)	
12	建設副産物・廃棄物、環境保全		16:30~19:00		
13	直前テスト	9/27 (日)	13:30~16:00	—	
14	直前テスト解説		16:30~19:00	9/30 (水)	

試験日 10月4日(日)

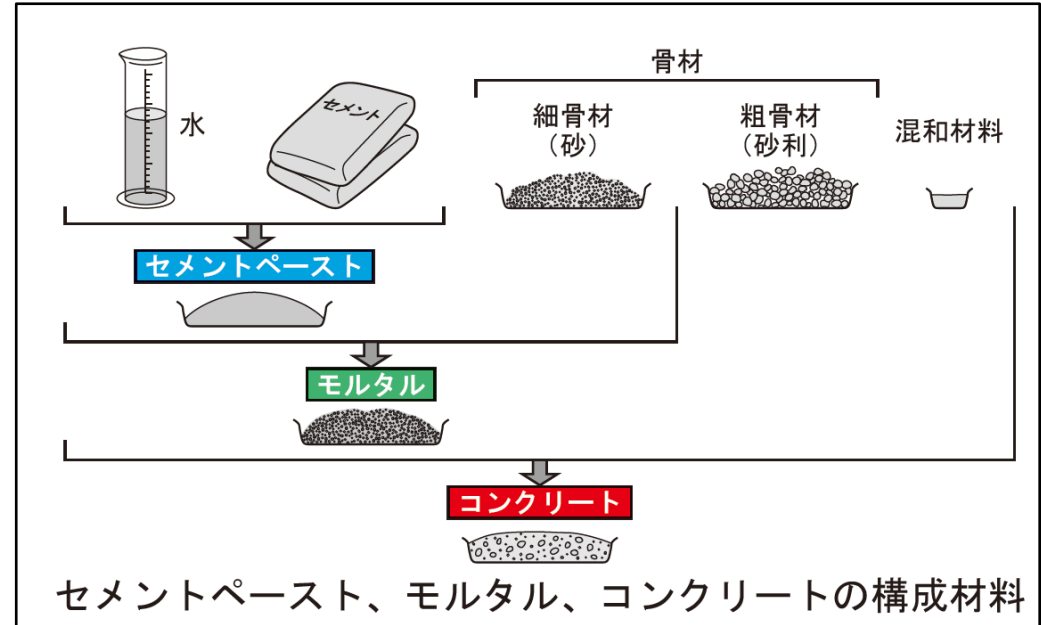
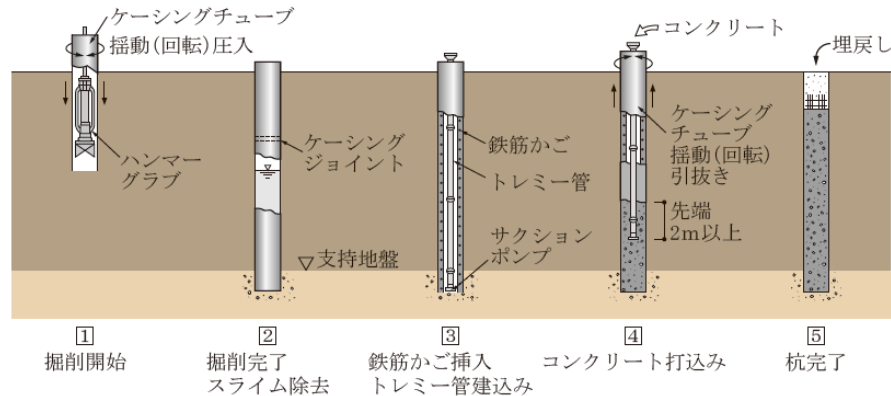
申し込みは
こちらから→



TACの講座案内

1 オールケーシング工法

オールケーシング工法は、掘削した孔壁の崩壊を防止するために、掘削孔の「全長（オール）」にわたり、「ケーシングチューブ」を圧入し、土をハンマークラブによってつかみ上げ、排土する工法です。



本講座では、**解説図**を用い、**専門用語や難しい言葉を、わかりやすい言葉に置き換えて、意味を理解してもらえ**る講義を実施します。

TACの講座案内

サポートサービス

Webフォロー付

通学講座の方もWebで受講可能！
いつでも何度でも視聴できます

配信期限 2026年10月末迄

平野講師のWeb講義を、いつでも・何度でも好きなときにご視聴いただけます。再生速度変更機能やスキップ機能など視聴機能が充実しており、学習しやすさも抜群です。講義の欠席・復習フォローとしてご活用ください。



※Webフォローの動作環境及び注意事項はTAC WEB SCHOOL (https://ws.tac-school.co.jp/taiken) にてご確認ください。

質問メール

いつでも質問できる！

利用可能回数 6回迄



疑問が生じた場合は、いつでもメールで質問できる安心のサポートです。返信は即日～基本3日以内、遅くとも1週間以内に対応しております。

経験記述 添削付 3回

指導経験豊富な講師が具体的な改善策をアドバイス！
出題可能性の高い6種類のテーマについて添削指導を行います。

 教室講座 (新宿校)  ビデオブース講座  Web通信講座

答案スマホ撮影提出

マイページにてデータ返却

スマートフォンで撮影したものを専用システムにアップロードしていただけます。手間と時間のかかる郵送のやりとりはありません。

TAC WEB SCHOOL マイページよりPDFにて返却いたします。(ご提出から返却まで約1週間)

経験記述 添削例 ※過年度の添削課題です。

2025年10月1日 TAC 1級土木施工管理技士 二次試験対策
経験記述 第1回 答案用紙

第1回 添削提出用
努力点

① 工事主任
② 工事内容
③ 発生原因
④ 工事場所
⑤ 工事
⑥ 発生位置

① 発生原因
発生原因は、現場での安全管理上の不足によるものであり、発生原因を特定し、発生原因を防止するための対策を講ずることが必要です。

② 工事内容
工事内容は、道路工事であり、道路の幅員を確保するための工事です。

③ 発生原因
発生原因は、現場での安全管理上の不足によるものであり、発生原因を特定し、発生原因を防止するための対策を講ずることが必要です。

④ 工事場所
工事場所は、現場であり、現場での安全管理上の不足によるものであり、発生原因を特定し、発生原因を防止するための対策を講ずることが必要です。

⑤ 工事
工事は、道路工事であり、道路の幅員を確保するための工事です。

⑥ 発生位置
発生位置は、現場であり、現場での安全管理上の不足によるものであり、発生原因を特定し、発生原因を防止するための対策を講ずることが必要です。

講座トップ 1級土木施工管理技士

> 資料請求

> 講座説明会

> 講座申込み方法

インターネットで
すぐに申込み

> コース・料金

> 合格者の声

> 資格概要

> 講座説明会/セミナー

> よくあるご質問

資格試験・資格取得の情報サイト>1級土木施工管理技士

不動産・建築・設備 関係

1級土木施工管理技士

土木・建設業界に必須の資格。

人手不足でニーズ大！19歳以上は誰でも一次
検定を受検できるようになりました。

- > 1級土木施工管理技士とは
- > ガイダンス等のイベント情報
- > オンラインセミナー動画配信

> 新着・割引・キャンペーン情報

2026年 合格目標

1級土木施工管理技士講座
二次対策本科生

開講 新宿校
8/16日
★初回、無料体験入学実施!!

> 新着情報

講座の詳細はTACホームページより確認できます。

TACの講座案内

アンケートご協力をお願い

- ウェビナーを退出されますと以下の画面が現れます。
「続行」ボタンをクリックしてWebアンケートで
本日のご感想をお聞かせください。

ウェビナーにご参加頂き、ありがとうございます。
[続行]をクリックして簡単なアンケートにご協力ください。

下記の外部URLアクセスするとzoom.usから離れます
[https:// docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSesytyj88cohm6GrD5JJFmV7bweBXHHWYaL5C3t1mwHL4uO9IA/viewform?usp=sf_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSesytyj88cohm6GrD5JJFmV7bweBXHHWYaL5C3t1mwHL4uO9IA/viewform?usp=sf_link)

本当に続行しますか？

- 入力が完了しますと、ご登録のメールアドレスに、
本日の参加特典である「入会金免除券コード」が届きます。
**入会金免除券が不要な方もアンケートで
ご感想をお聞かせください。**

**ご視聴
ありがとうございました。**